

鹿児島県警察における地域警察の体制強化に向けた 再編整備基本計画

[資料編]

資料 1 鹿児島県警察の組織

資料 2 県政モニターに対する「治安等に関するアンケート結果」

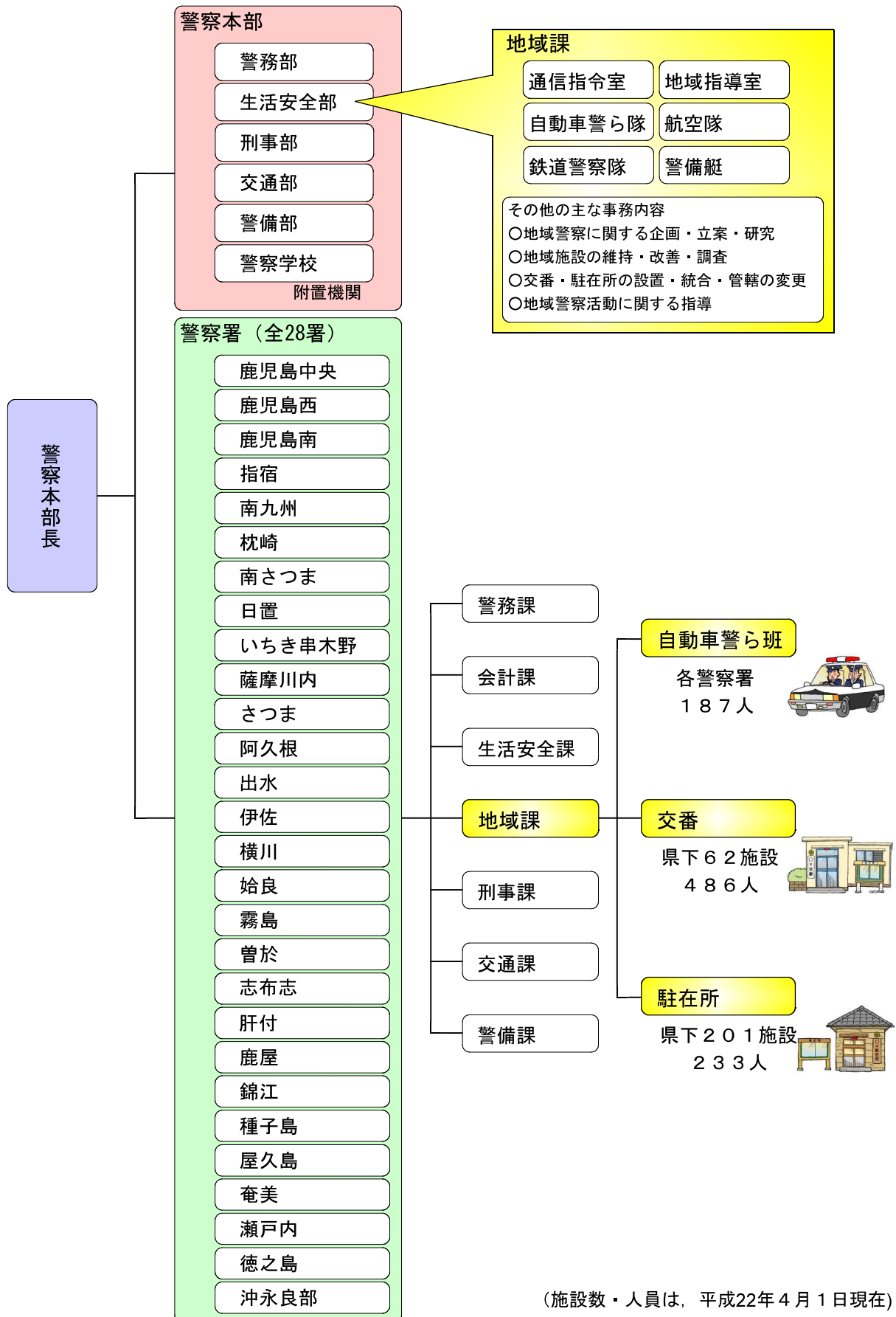
資料 3 鹿児島県下の治安情勢等

資料 4 地域警察の体制

資料 5 再編整備の効果 ～過去の再編整備例～

資料 6 地域施設の現状

資料1 鹿児島県警察の組織



資料2 県政モニターに対する「治安等に関するアンケート結果」

○ アンケートの実施時期

平成22年3月

○ アンケートの対象

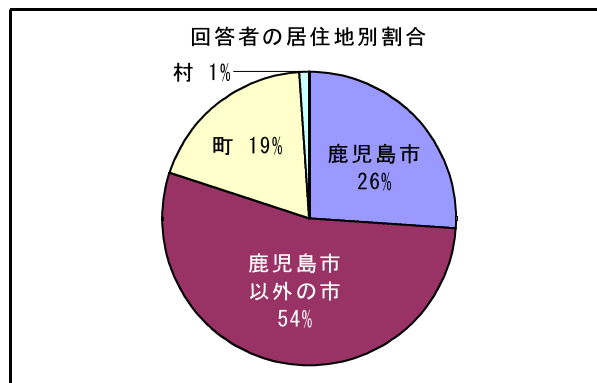
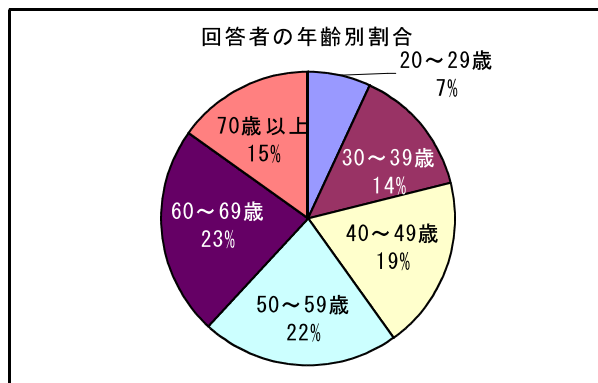
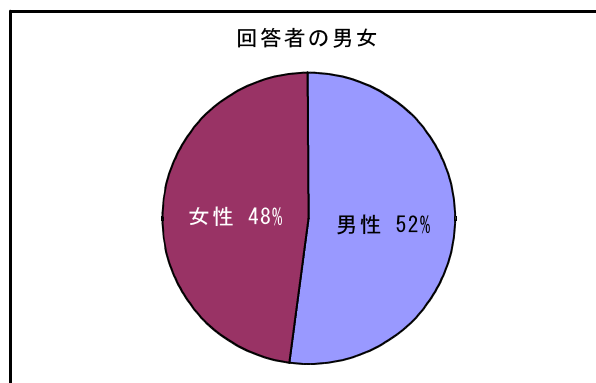
県政モニター 199人

○ アンケートの目的

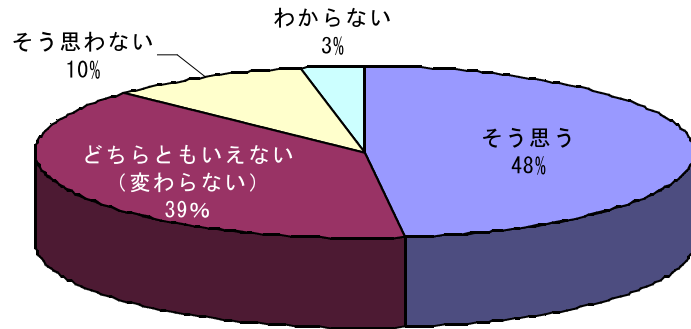
鹿児島県の治安等に関する県民の皆様の意識を調査することにより、「安全に安心して暮らせる鹿児島の創造」に向けた警察行政を推進する上での基礎資料とするもの

○ 回答結果

回答者 168人（男性 87人，女性 81人，回答率 84.4パーセント）

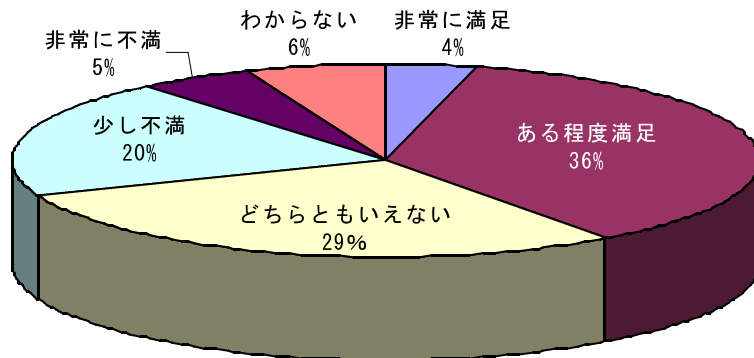


問：現在の鹿児島県の治安が良く、安全で安心して暮らせる県であると思いますか？



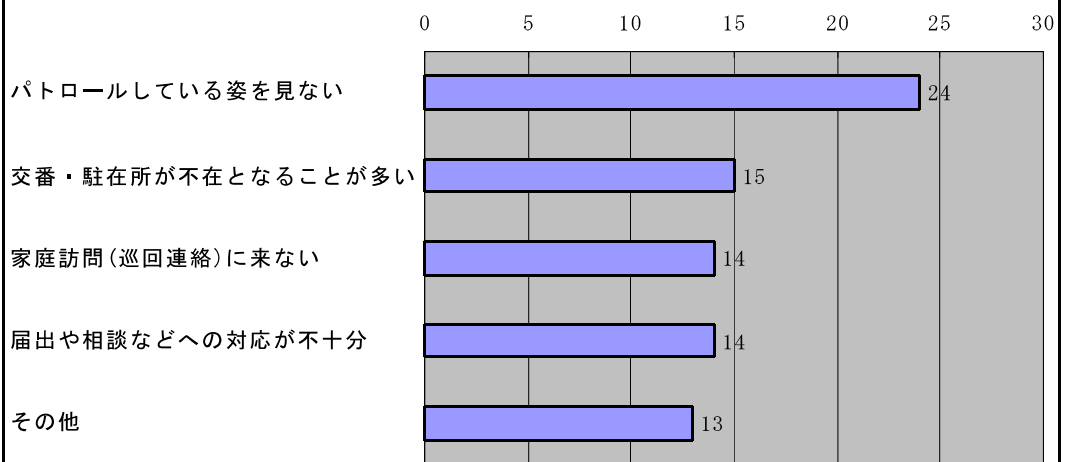
【分析結果】 約半数の方が、「そう思わない」、「どちらともいえない」と回答しており、治安の回復を体感できている状態とはいえない。

問：近くの交番・駐在所の活動に満足していますか？

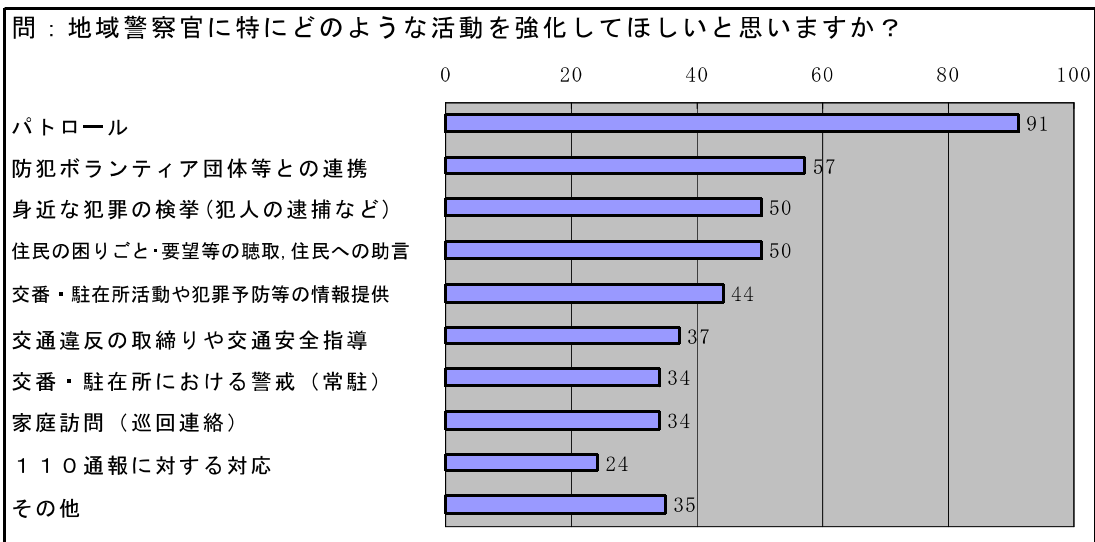


【分析結果】 半数以上の方が、「非常に不満」、「少し不満」、「どちらともいえない」と回答

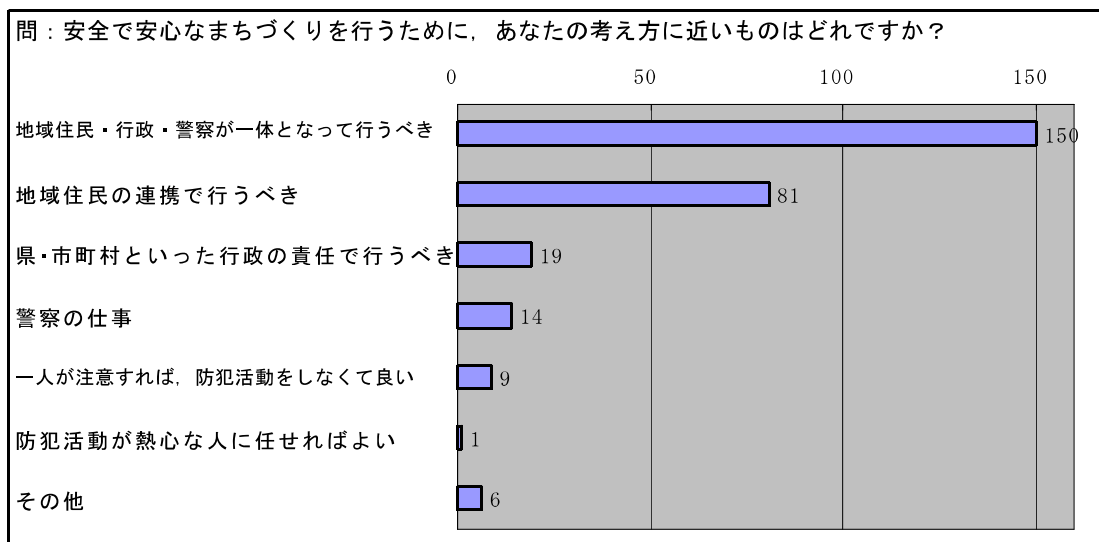
更問：不満である理由は何ですか？



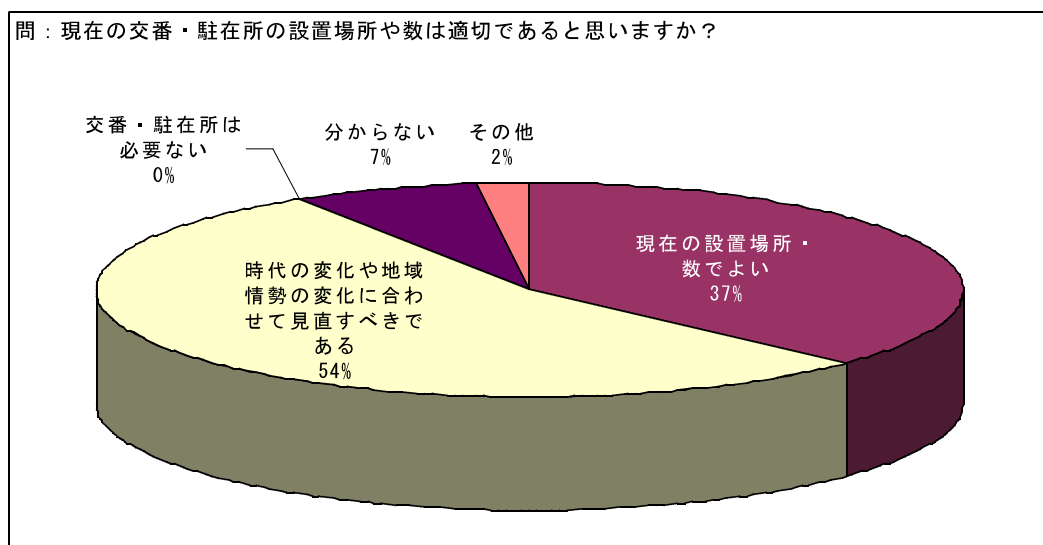
【分析結果】 「パトロールしている姿を見ない」という意見が最も多く、次いで「交番・駐在所が不在となることが多い」という意見



【分析結果】 最も多いのは「パトロールを強化してほしい」という意見



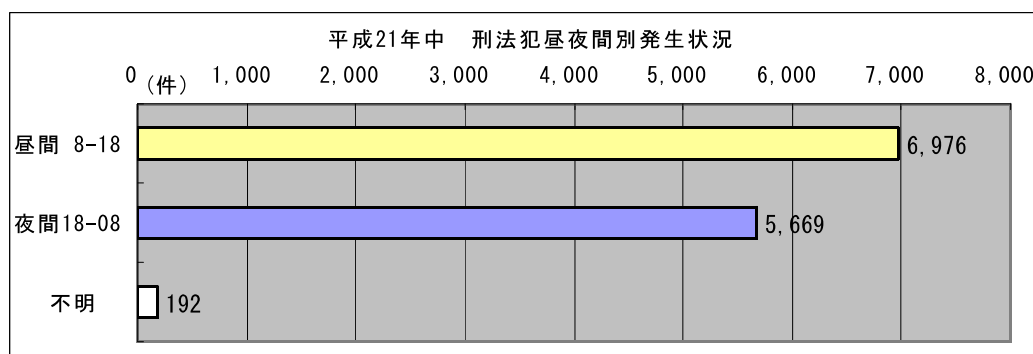
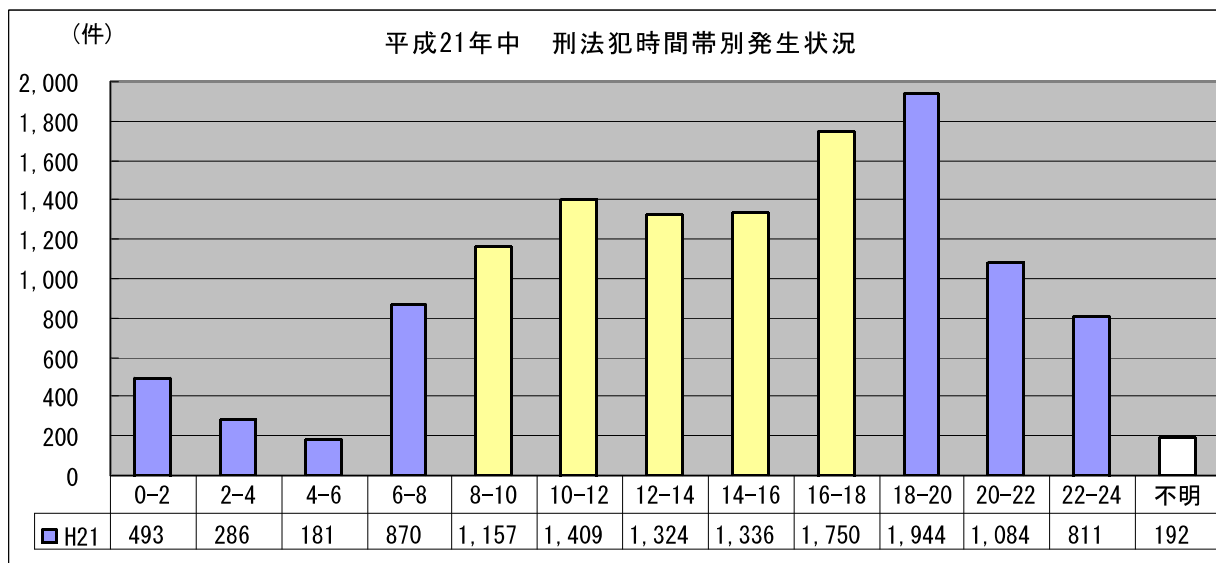
【分析結果】 大半の方が、「地域住民・行政・警察が一体となって行うべき」と回答



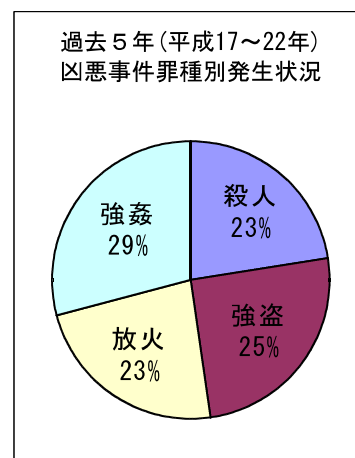
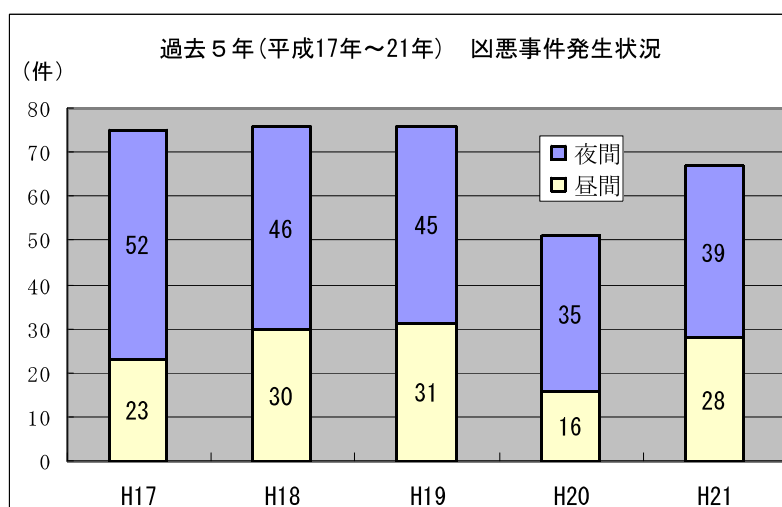
【分析結果】 4割近くの方が「現在のままでよい」と回答しながらも、半数以上の方が「時代の変化や地域情勢の変化に合わせて見直すべき」と回答

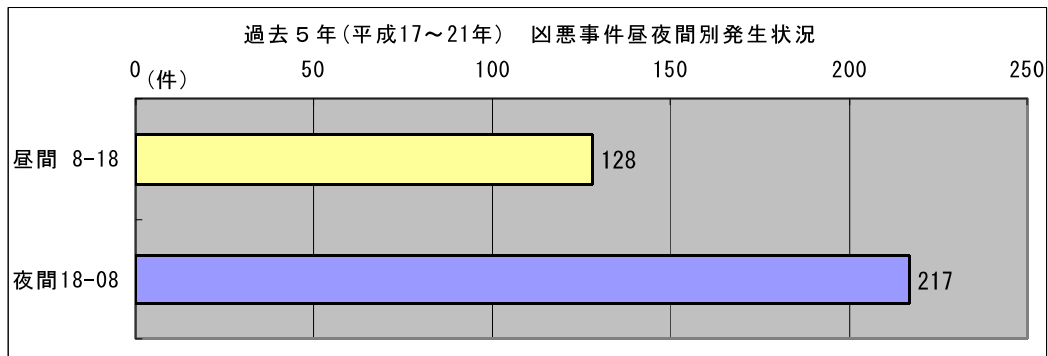
資料3 鹿児島県下の治安情勢等

○ 刑法犯発生状況

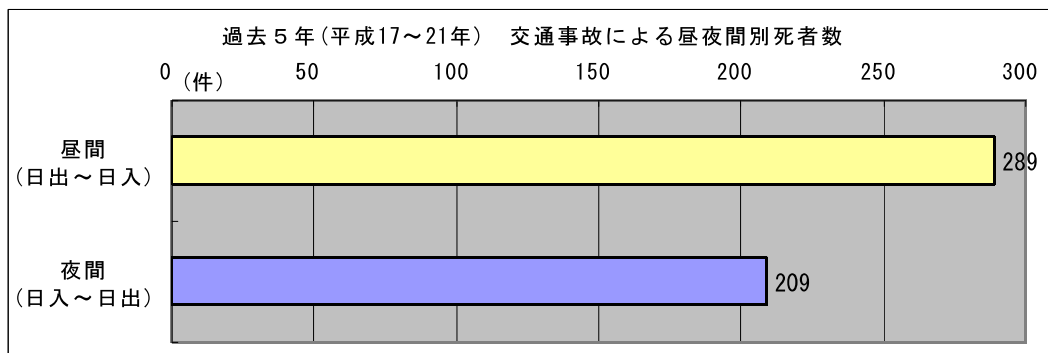
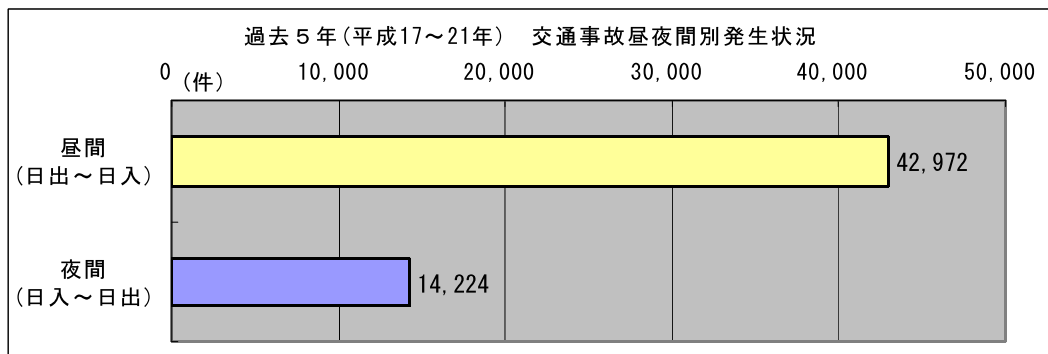


○ 凶悪事件発生状況

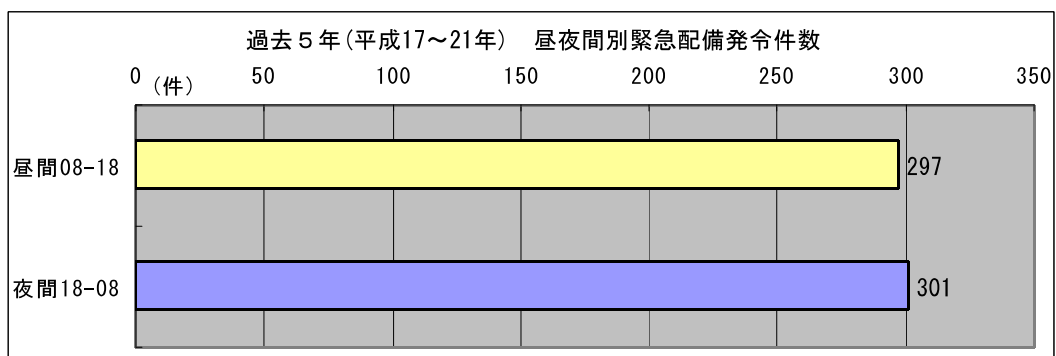




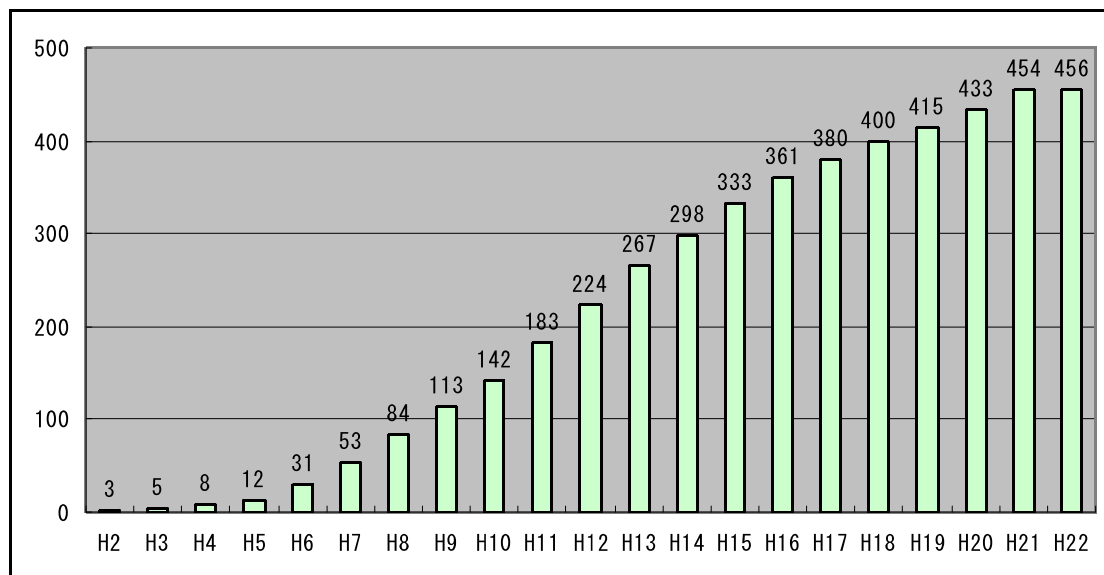
○ 交通事故発生状況



○ 緊急配備



○ コンビニエンスストア(24時間営業)の店舗数の推移



平成22年6月：鹿児島県警察本部地域課調べ

資料4 地域警察の体制

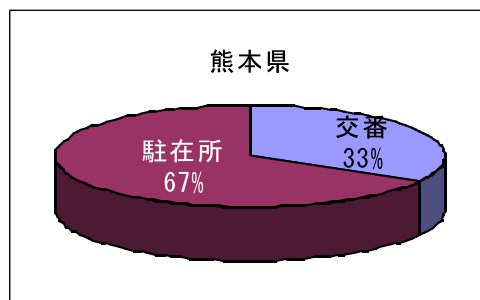
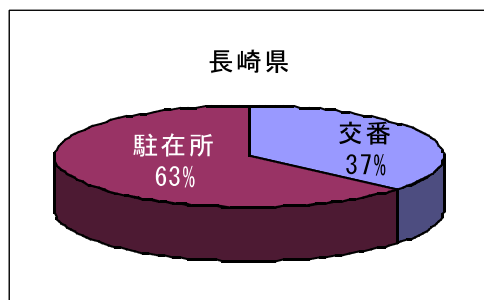
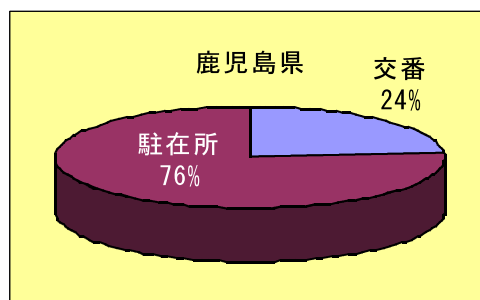
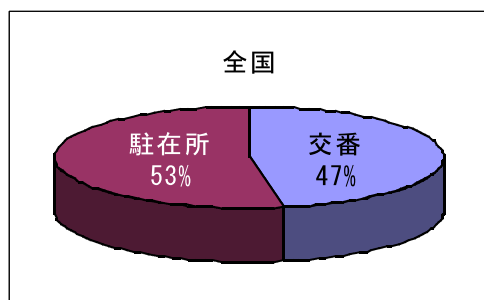
○ 鹿児島県警察における地域施設数

年	交番	駐在所		計	合 計
		単 独	複 数		
昭和39年	1 0 5			3 2 3	4 2 8
昭和45年	7 6			2 5 0	3 2 6
昭和54年	7 3			2 1 4	2 8 7
昭和60年	7 5	1 8 7	2 7	2 1 4	2 8 9
平成元年	7 6	1 8 6	2 8	2 1 4	2 9 0
平成5年	7 6	1 8 1	3 2	2 1 3	2 8 9
平成10年	7 4	1 6 5	3 8	2 0 3	2 7 7
平成15年	6 8	1 6 7	3 8	2 0 5	2 7 3
平成20年	6 4	1 6 7	3 8	2 0 5	2 6 9
平成22年	6 2	1 6 9	3 2	2 0 1	2 6 3

○ 交番・駐在所比率の全国・他県との比較

(施設)	全 国	鹿児島県	長崎県	熊本県
交 番	6,211	62	73	58
駐在所	6,925	201	127	117
計	13,136	263	200	175

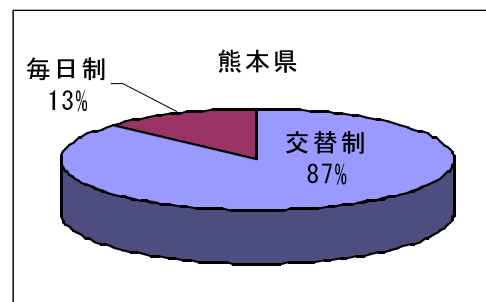
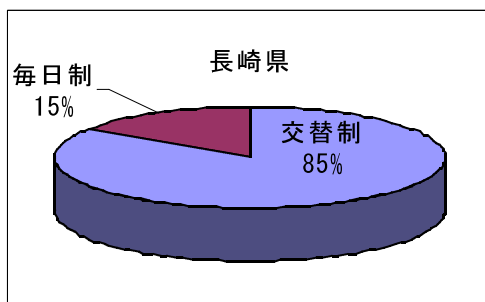
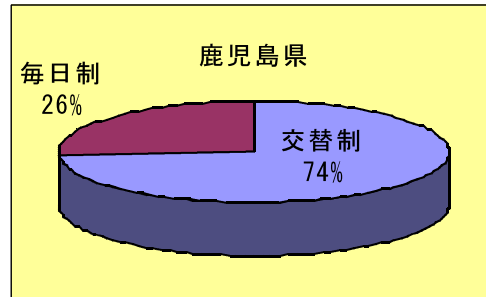
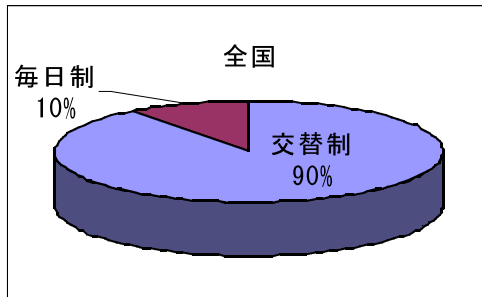
平成22年4月1日現在



○ 勤務制別比率の全国・他県との比較

(人)	全 国	鹿児島県	長崎県	熊本県
交替制(交番等)	63,231	673	800	783
毎日制(駐在所)	7,151	233	144	118

平成22年4月1日現在

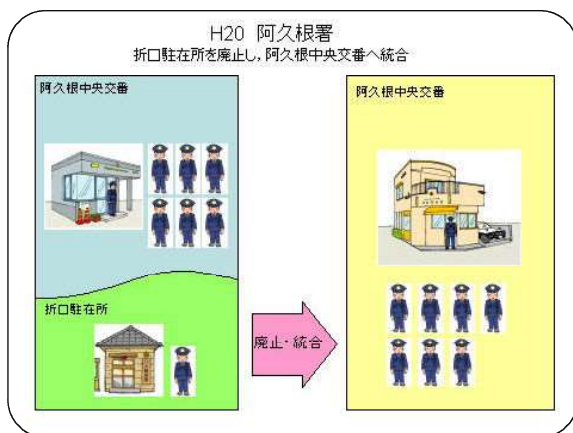


○ 規模別交番数

規模別	施設数(構成比)	備 考
大型交番 (定員12人以上)	11 (17.8%)	1 当務に4人以上が勤務
中規模交番(定員6～11人)	33 (53.2%)	1 当務に2人以上が勤務
小規模交番(定員5人以下)	15 (24.2%)	
駐在型交番(定員3～4人)	3 (4.8%)	交番に併設された住宅に勤務員が居住
計	62 (100.0%)	

資料５ 再編整備の効果 ～過去の再編整備例～

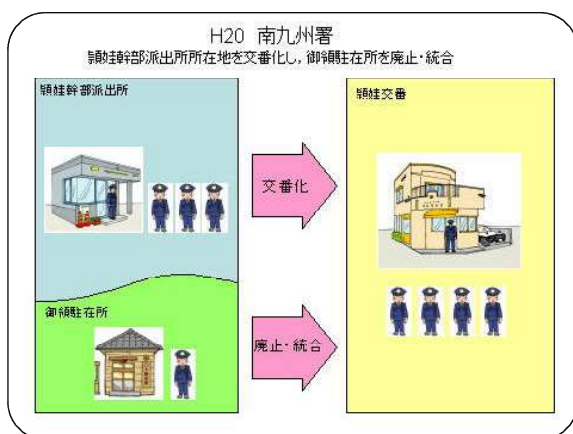
○ 駐在所管轄を交番管轄に変更（駐在所を廃止して、隣接する交番に統合）



	刑法犯 発生件数	人身事故 発生件数	物損事故 発生件数
再編前	31	13	47
再編後	17	11	28
増減比	-14 (-45.2%)	-2 (-15.4%)	-19 (-40.4%)

再編前：H19.4.1～H20.3.31

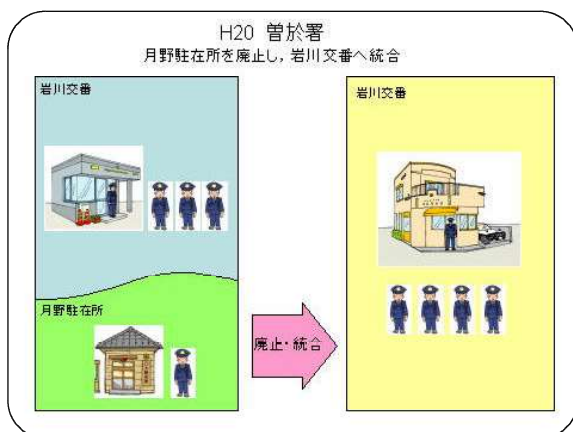
再編後：H20.4.1～H21.3.31



	刑法犯 発生件数	人身事故 発生件数	物損事故 発生件数
廃止前	14	6	25
廃止後	8	13	33
増減比	-6 (-42.9%)	+7 (+116.7%)	+8 (+32.0%)

再編前：H19.10.1～H20.9.30

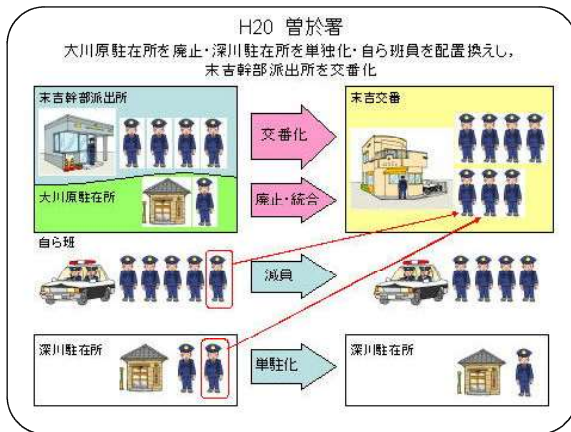
再編後：H20.10.1～H21.9.30



	刑法犯 発生件数	人身事故 発生件数	物損事故 発生件数
廃止前	12	12	37
廃止後	11	11	26
増減比	-1 (-8.3%)	-1 (-8.3%)	-11 (-29.7%)

再編前：H19.10.1～H20.9.30

再編後：H20.10.1～H21.9.30



	刑法犯 発生件数	人身事故 発生件数	物損事故 発生件数
廃止前	11	9	21
廃止後	4	5	13
増減比	-7 (-63.6%)	-4 (-44.4%)	-8 (-38.1%)

再編前：H19.10.1～H20.9.30

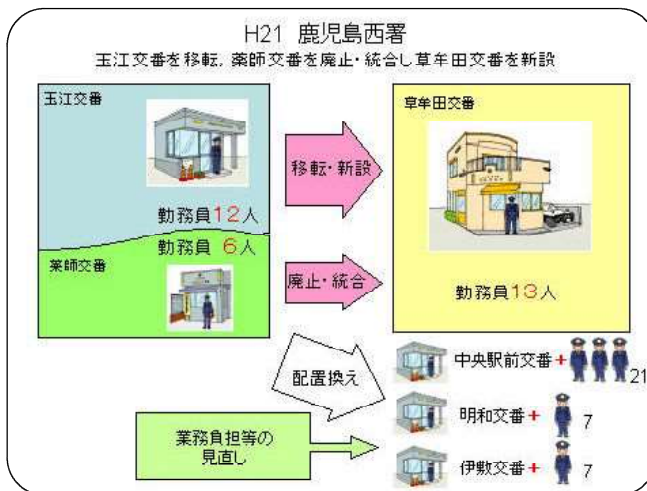
再編後：H20.10.1～H21.9.30

◇ 平成20年度再編整備実施地域における事件・事故発生状況の合計

	刑法犯発生件数	人身事故発生件数	物損事故発生件数
廃止前	68	40	130
廃止後	40	40	100
増減比	-28 (-41.2%)	±0 (±0.0%)	-30 (-23.1%)
県下全体	-6.0%	+0.03%	+0.01%

※「県下全体」は、平成20年中と平成21年中の増減比(%)

○ 交番を統合し、大型交番を新設



	刑法犯 発生件数	人身事故 発生件数	物損事故 発生件数
統合前	354	331	956
統合後	260	248	750
増減比	-94 (-26.6%)	-83 (-25.1%)	-206 (-21.5%)

再編前：H20.4.1～H21.3.31

(旧玉江交番，旧薬師交番の合計)

再編後：H21.4.1～H22.3.31

○草牟田交番に寄せられた声

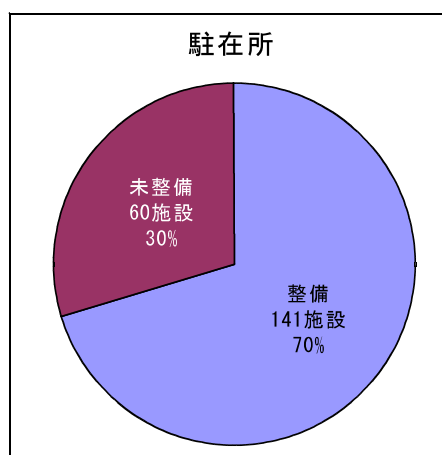
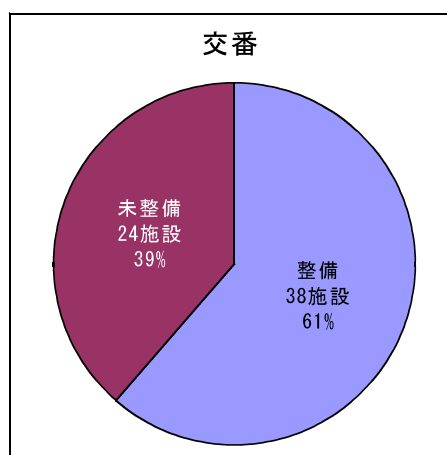
- ・ 駐車場が広くなり、立ち寄りやすくなった。
- ・ 国道沿いに移転し、交番の存在が目立ち、安心感が大きくなった。
- ・ 夜間も安心して国道を歩いて帰れるようになった。

資料6 地域施設の現状（平成22年10月31日現在）

○ 築年数別地域施設数

築年数	建築年度	交番	駐在所	計	率
築5年以下	平成17年度以降	5	12	17	6.5%
築6～10年	平成12～16年度	8	42	50	19.0%
築11～15年	平成7～11年度	14	58	72	27.4%
築16～20年	平成2～6年度	15	50	65	24.7%
築21～25年	昭和60～平成元年度	2	16	18	6.8%
築26～30年	昭和55～59年度	4	10	14	5.3%
築31年以上	昭和54年度以前	14	13	27	10.3%
合 計		62	201	263	100.0%

○ 相談室の整備状況



○ 来訪者用トイレの整備状況

